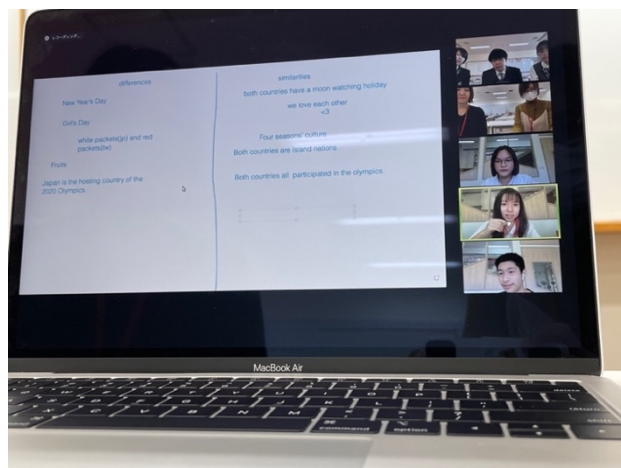


関西大学 高等部1年 × 国立臺灣師範大學附屬 高級中學高中部

2021 オンライン交流会（+ 英語集中トレーニング、事前・事後学習）



本校では、例年、協定校である台湾の名門校、国立臺灣師範大學附屬高級中學（以下、師範大校）と短期交換留学を行なっています。しかし、昨年度より新型コロナウイルス感染症拡大の影響で交換留学ができなくなってしまいました。そこで、学びの機会を継続するため、英語によるオンライン交流（Zoom 使用）を行いました。本年度は、昨年度行った、他のプログラムでの交流内容を参考に、さらに発展させ、英語研修なども新たに取り入れながら、より深い学びのある交流会を目指しました。本校からは、高等部1年生の5名が参加しました。

<プログラム内容>

① 事前交流

バディーマッチング、プレゼン動画の交換、メール交換

② 情報交換

プレゼンテーション動画（それぞれの国の文化や生活・学校について）の作成、交換

③ 事前学習1

- ・台湾についての調べ学習（インターネットや台北駐大阪経済文化弁事処からの資料を用いて）
- ・ディスカッションに向けた準備



④ 事前学習2 英語集中トレーニング (協力: (株) アイエスエイ)

- ・英国ネイティブ講師による2日間、計400分、オールイングリッシュの授業
- ・ブレインストーミング (リスティングとグルーピング)、ディスカッションの手法、論理的な意見の述べ方、異文化理解、日本文化の紹介、イギリスと日本に関して類似点と相違点など



⑤ 交流当日 12月15日 午後

- ・アイスブレイク
- ・グループディスカッション(事前に交換したビデオに基づいて、ホワイトボード機能を用い Similarities & Differences をリストアップ)
- ・オンライン集合写真、生徒代表挨拶など



⑥ 事後交流

バディーとの手紙交換、SNS を通じての交流

過去の交換留学プログラムの様子はこちらです！

・2019年 7月 受け入れの様子

中等部

<https://www.kansai-u.ac.jp/junior/2019/07/post-522.html>

高等部

<https://www.kansai-u.ac.jp/senior/2019/07/post-472.html>

・2019年 3月 訪問の様子

中等部

<https://www.kansai-u.ac.jp/junior/2019/03/post-499.html>

高等部

<https://www.kansai-u.ac.jp/senior/2019/03/post-442.html>

國立臺灣師範大學附屬高級中學のホームページはこちらです！

<https://www.hs.ntnu.edu.tw>

<生徒の感想>

・台湾の方々に自分の意見を聞いてもらったことや自分のことを知ってもらえたことが何より嬉しかったです。また、オンライン交流会を通して台湾の方々の自分の差がはっきりとわかったためこれからもっと勉強しなければならないと気づけました。長い時間英語で話す機会が今までになかったのでとても良い経験になりました。またこのような機会があれば参加したいと思います。

・交流会では、最初こそ自分の拙い英語を使って会話することに恥ずかしさを感じていましたが、せっかくの機会だからと思い、とりあえず恥ずかしさは気しないように、積極的に英語を使うことを意識していると、いつの間にか自然にその恥じらいも消えており、交流の最後にはコミュニケーションの楽しさを心の底から感じられていました。この取り組みを振り返ってみると、普段机の上でする勉強では気づけないことに気づけたという面で、非常に有意義だったと感じます。これからの英語学習も、今回の体験で学んだことを意識して積極的に取り組んでいこうと思いました。

・日本の文化と台湾の文化の似ているところ、違うところが知れて楽しかったです。全体のプログラムを通して英語と日本語の会話体型の違いや、英語の相槌など、学校の授業では教えてもらえないような知識、自分の意見を述べることの大切さ、自主性など幅広い教養が身につきました。その他にも他人の意見を聞き、それを踏まえて議論を展開していく力など、文法や読解ではない、英語で「話す」ためのスキルを身につけることができました。これらの能力は日本語でのディベートでも応用できそうなので、この経験を忘れず、ここで身につけた能力をこれからも使っていきたいと思います。またこのような機会があれば、是非参加したいなと思います。

今回のオンライン交流会では、生徒達は目的意識を持ってしっかりと取り組んでくれました。同じ第二外国語を学ぶ同世代の台湾生の英語力の高さに刺激を受けたようで、「英語でコミュニケーションを取る」、「国際化に適応していくことが大事」など国際交流の醍醐味をしっかりと楽しみ、学ぶことができました。

今後も、本校としては、時代の変化に柔軟に対応しつつ、国際社会で活躍できる人材育成のため、生徒主体のプログラムを展開していきたいと考えています。